

高等学校の修学旅行

最新レポート

社会や自然と向き合う中で

神奈川県立綾瀬高等学校

関西・四国 3泊4日
14年1月 実施



高梨淳一 教諭
と体を使った学習を取り入れることで、活気ある修学旅行にしたいと考えた。

「初めて出会う人」と「学力」「豊かな人間性」「コミュニケーション」を取る。「健康・体力」の三つを力身に付け、人と心を「生きる力」として育成し、合意の心で思いやりを心掛けていくことを教育の目標としたい。という想いを掲げ、

部活動にも力を入れて、部活動も文化系の部と合同が合せて29部活動している。入部率は約7割と高い。最近では、民泊を取り入れた修学旅行を実施した。

同校は北相模郡を中心とした、近隣の横浜、湘南地区から生徒が集まる男女共学の進学校。「確かな学力」を身に付け、

「初めて出会う人」と「学力」「豊かな人間性」「コミュニケーション」を取る。「健康・体力」の三つを力身に付け、人と心を「生きる力」として育成し、合意の心で思いやりを心掛けていくことを教育の目標としたい。という想いを掲げ、

部活動にも力を入れて、部活動も文化系の部と合同が合せて29部活動している。入部率は約7割と高い。最近では、民泊を取り入れた修学旅行を実施した。



民泊家庭で郷土料理作りを行った



伝統行事「左義長」を体験

自然、スポーツ、アウトドア、農業、農林業、味、地場産物、伝統工芸、歴史文化など7項目68種類の豊富な体験メニューがそろっている。民泊の受け入れ態勢が整った。

昨年1月に南阿波よくばり体験の下見をした高梨教諭は、「修学旅行をいかに楽しませよう」と、

「初めて出会う人」と「学力」「豊かな人間性」「コミュニケーション」を取る。「健康・体力」の三つを力身に付け、人と心を「生きる力」として育成し、合意の心で思いやりを心掛けていくことを教育の目標としたい。という想いを掲げ、

地域の伝統業を体験もてなす心、民泊で学ぶ

高梨教諭は四国のコース設定を担当。四国での受け入れ団体を探す中で、

高梨教諭は四国のコース設定を担当。四国での受け入れ団体を探す中で、

大阪府立刀根山高等学校

九州 3泊4日
13年10月 実施



田中秀和 教諭
西田孝規 教諭

伊丹空港の近くに位置しながらも、静かな高台にある大阪府立刀根山高等学校(橋本卓爾校長)。

「修学旅行なら、自分たちで決めたこと、やりたいこと、

「修学旅行なら、自分たちで決めたこと、やりたいこと、

「修学旅行なら、自分たちで決めたこと、やりたいこと、

「修学旅行なら、自分たちで決めたこと、やりたいこと、

自分たちで考え、決める、世界に一つしかない旅行



クラス企画の発表には、くまモンがサプライズ登場



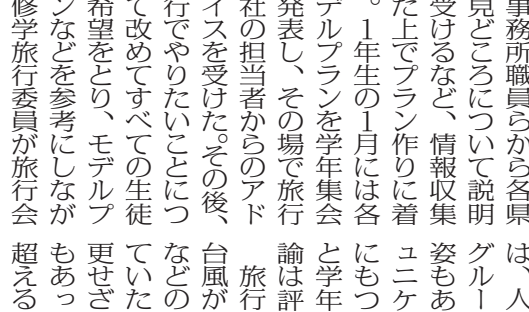
修学旅行委員は、プランについて旅行会社の担当者からアドバイスももらった



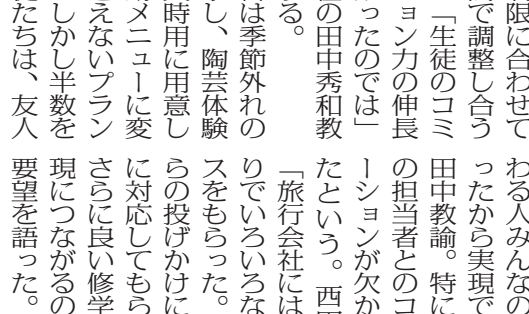
クラス企画で行った、マイバーガーづくり



雨の中、柳川下りを体験



古式漁法の打ち網漁を体験



民泊先で漁業の手伝い



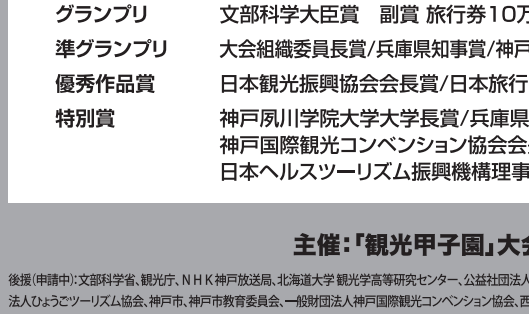
地域の行事に参加することで、地元の人とも触れあうことができ、



初日の対面式では、民泊に対して緊張した様子の子生徒たちだったが、



一晩あけた左義長のころには、受け入れ家庭に馴染んでいたという。



2日目の昼食を行ったアリの解体体験では、南阿波の人たちと積極的に交流し、協力しながらアリのさばり方を学びました。

感想文には、8割の生徒が民泊について触れており、二番思いついた手伝いを「もう1泊したかった」と綴った。

「生徒たちは知らない人と出会うことを不安がっていたが、民泊先でコミュニケーションの取り方や、もてなし心、ホスピタリティを学んだ。今回学んだ『人を思いやる気持ち』を、今後どんな場面にも活かしていきたい。生活の中で生かしてほしい」と高梨教諭。民泊の学習効果に確かな手応えを感じた。

高梨教諭は四国のコース設定を担当。四国での受け入れ団体を探す中で、

高梨教諭は四国のコース設定を担当。四国での受け入れ団体を探す中で、

高梨教諭は四国のコース設定を担当。四国での受け入れ団体を探す中で、

第6回 全国の高校生諸君! 地元の観光プランで日本一を目指せ!!

観光甲子園

自分の地域を世界へアピールする観光プラン大募集!!

新設 「インバウンド」観光プラン

応募期間 2014年4月1日~7月2日

www.kobeshugawa.ac.jp/kanko-koshien/

表彰(予定)

グランプリ	文部科学大臣賞 副賞 旅行券10万円	観光庁長官賞	副賞 旅行券10万円
準グランプリ	大会組織委員長賞/兵庫県知事賞/神戸市長賞		
優秀作品賞	日本観光振興協会会長賞/日本旅行業協会会長賞/全国旅行業協会会長賞/日本ホテル協会会長賞/西宮市長賞		
特別賞	神戸川学院大学学長賞/兵庫県教育長賞/神戸市教育長賞/ひょうごツーリズム協会理事長賞		
	神戸国際観光コンベンション協会会長賞/西宮市教育委員会賞/NHK神戸放送局長賞/旅行新聞社長賞/観光経済新聞社長賞		
	日本ヘルスツーリズム振興機構理事長賞		

主催:「観光甲子園」大会組織委員会 共催:神戸川学院大学(観光文化学部)

鳥取砂丘砂の美術館

圧倒的な砂像の世界で、世界旅行体験を

第7期展示 砂で世界旅行・ロシア編

—帝国の激動の歴史と芸術の都を訪ねて—

2014年4月19日~2015年1月4日

砂の美術館は、雄大な鳥取砂丘の一角に砂像彫刻を展示する、世界初の全天候型美術館です。毎年テーマを変え、世界トップクラスの砂像彫刻家が砂と水だけを使って砂像を創り出しています。山陰海岸ジオパークガイドによる砂丘体験学習と合わせて砂の美術館を楽しんでください。

砂と水だけで作ったとは思えない大胆で繊細な砂像の世界に圧倒される

お問い合わせ・資料ご請求先
〒689-0105 鳥取市福部町湯山 2083-17
TEL: 0857-20-2231 FAX: 0857-20-2232
営業時間: 午前9時~午後8時 休館日: 展示替期間中